

【令和6年度】

放射線に関する教職員研修及び出前授業 実施事業のご案内

東日本大震災により被災した児童生徒又は原子力発電所事故により避難している児童生徒へのいじめの防止、そして児童生徒が放射線に関する科学的な知識を身に付け、自ら考え、行動できるようになることを目的として、本事業では、放射線に関する教職員等を対象にした研修、児童生徒等への出前授業を、対面ならびにオンラインで実施します。

教職員研修



講義形式

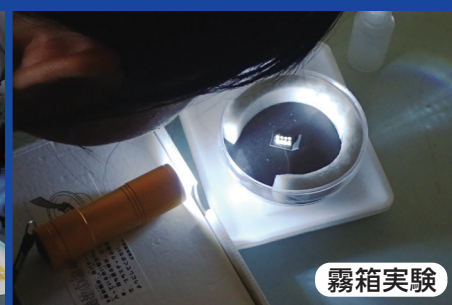


グループワーク形式

出前授業



測定実験



霧箱実験

実施期間 令和6年5月10日(金)～令和7年1月31日(金)

会場 学校等にて会場の手配をお願いします。

講師 本事業認定講師(科学館職員、大学・研究機関等の専門家、教職員経験者等)

費用 無料

※先着順のため、お申込みが多数の場合には、ご希望に沿えないこともございますのでご了承ください。

後援

全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国小学校国語教育研究会、全日本中学校国語教育研究協議会、全国小学校社会科研究協議会、全国中学校社会科教育研究会、全国地理教育研究会、全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会、全日本中学校技術・家庭科研究会、日本学校体育研究連合会、全国特別活動研究会、全国学校安全教育研究会

申込み・問合せ先

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1 公益財団法人 日本科学技術振興財団 人財育成部
放射線に関する教職員研修及び出前授業事務局 電話:03-3212-8504(代) FAX:03-3212-8596
e-mail: mext-seminar@jsf.or.jp URL: <http://radi-seminar.jp>

主なカリキュラムのご紹介

校内研修の場合、出前授業と教職員研修のセットでの実施が効果的です。

出前授業

主なカリキュラム

A 紙芝居・絵合わせ

紙芝居による説明と、
絵のカードを用いた
絵合わせのゲーム

対象学年

小1・2

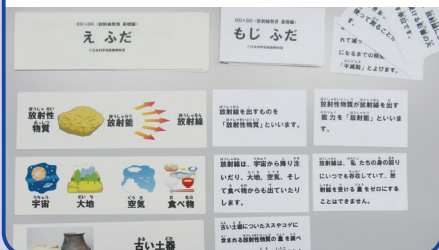


B 情報整理

絵のカードと文字の
カードの組み合わせを
考えるグループワーク

対象学年

小3～中・高



C 測定実験① (自然放射線測定)

簡易放射線測定器を
用いて、校内を探索し
自然放射線を測定

対象学年

小3～中・高

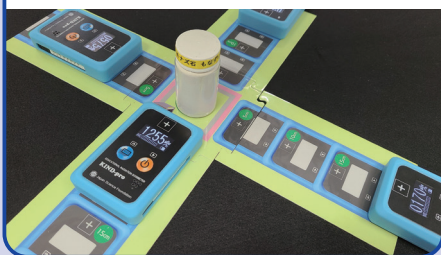


D 測定実験② (特性実験)

外部被ばく低減のための
三原則の実験

対象学年

中・高

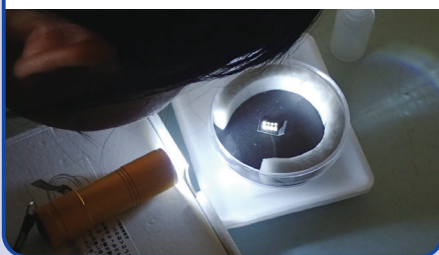


E 霧箱実験① (個人型霧箱)

シャーレを使って個人型霧
箱を作成し、放射線の飛跡
を観察 (半減期実験を含む)

対象学年

小3～中・高

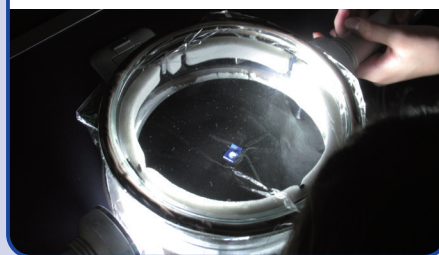


F 霧箱実験② (グループ型霧箱)

直径20cm大の霧箱を用いて、
グループで自然放射線の飛跡
を観察 (半減期実験を含む)

対象学年

中・高

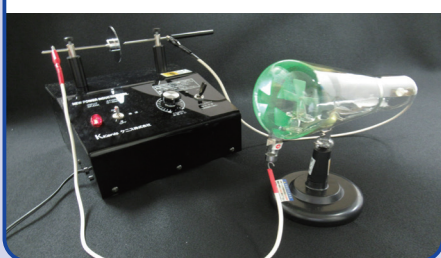


G クルックス管実験

レントゲン博士のX線発見の歴史
をひもとく、放射線の性質及び放
射線の利用とリスクについて学習

対象学年

中・高

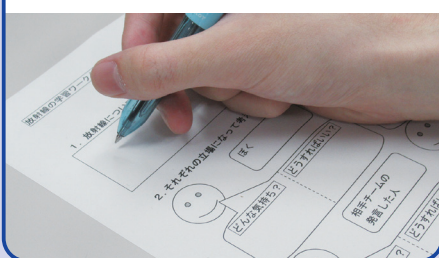


H ケーススタディ

放射線副読本第2章「あの
ひとこと」を題材とした
グループディスカッション

対象学年

小5～中・高



I 原子力発電所の事故と復興のあゆみ

放射線副読本第2章に沿って、
被災地の教員等からお話を
うかがうオンライン講演

対象学年

小5～中・高



※その他…児童生徒の発達段階やニーズに合わせて相談の上、柔軟にカリキュラムを作成いたします。

文部科学省が作成した「放射線副読本」の内容をもとに授業を実施します。実験や演習が主体のため、原則クラス単位での実施をお願いしています。いずれも1単位時間(45分または50分)での実施が基本となります。**対象学年**は目安です。ご希望内容、児童生徒の発達段階、予備知識等を踏まえ、オンラインならびに対面で実施いたします。

オンライン / 対面でのお願い

オンライン



- 実験・演習器材の受け取り、会場までの移動、終了後の発送
- 事前打ち合わせ、会場の確保、児童生徒のタブレット等の手配
- 実験・演習の準備、授業中のフォロー
- オンライン会議の準備

対面



- 実験・演習器材の受け取り、会場までの移動、終了後の発送
- 事前打ち合わせ、会場の確保、児童生徒のタブレット等の手配
- 授業の監督、またはTT(チームティーチング)

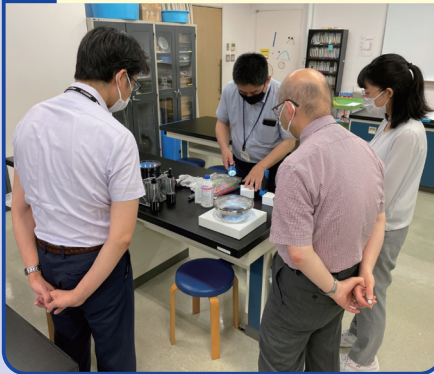
教 職 員 研 修

主なカリキュラム

○ 放射線副読本の内容



P 実験(霧箱、測定、クルックス管等)紹介



Q 研修用教材(情報カード等)を活用した演習



R グループディスカッション(ケーススタディ)



S 放射線に関する専門知識の習得



T 被災地体験談(オンラインによる質疑応答)



教育委員会、研修センター、教科等研究会主催による研修会等については、大人数での実施も可能です。放射線副読本の内容を踏まえ、座学と演習(グループワーク)を組み合わせる実施させていただきます。O～Tの中からご希望内容を選択してください。(複数選択可)

オンライン / 対面でのお願い

オンライン



- 実験・演習器材の受け取り、会場までの移動、終了後の発送
- 事前打ち合わせ、会場の確保
- 実験・演習の準備
- オンライン会議の準備

対 面



- 実験・演習器材の受け取り、会場までの移動、終了後の発送
- 事前打ち合わせ、会場の確保

申込み・問合せ先

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1 公益財団法人 日本科学技術振興財団 人財育成部
放射線に関する教職員研修及び出前授業事務局 電話:03-3212-8504 (代) FAX:03-3212-8596
e-mail: mext-seminar@jsf.or.jp URL: <http://radi-seminar.jp>